

- ・不登校児童生徒は、小・中・高で約42万人にのぼり、過去最多の状況。【令和6年度補正予算額 4億円】
- ・小・中学校における不登校児童生徒のうち、約4割が、学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けていない。
- ・令和5年3月、文部科学大臣の下、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」を発表。

不登校の児童生徒全ての
学びの場を確保し、
学びたいと思った時に学べる
環境を整えます。

学びの多様化学校（※）の設置促進

※令和5年8月に名称変更

- ・学びの多様化学校の設置準備（補助上限約500万円）及び
令和6年度以降に指定される学びの多様化学校の設置後の運営支援（補助上限額約400万円） 2億円（1.4億円）
- ・教職員定数の改善（義務教育費国庫負担金）
不登校対応等のための中学校の生徒指導担当教師の配置充実、
中学校35人学級や学びの多様化学校に係る基礎定数化（次期通常国会に義務標準法改正案を提出予定）
- ・公立学校施設整備 2,066億円＋事項要求の内数（691億円の内数）

校内教育支援センターの設置促進

- ・校内教育支援センター支援員の配置 13億円（4億円）
- ・公立学校施設整備（再掲）

教育支援センターの機能強化

- ・教育支援センターのアウトリーチ支援体制の強化 2.5億円（0.7億円）
- ・メタバースを活用した不登校支援 1.3億円の内数（1.3億円の内数）
- ・不登校児童生徒を対象とした教育支援センター等における体験活動の取組 2億円の内数（1億円の内数）
- ・不登校児童生徒を含めたキャリア教育の推進【新規】 0.5億円

多様な学びの場、居場所を確保等

- ・不登校児童生徒支援協議会の設置 0.1億円（0.1億円）
- ・夜間中学の設置準備・運営支援及び教育活動の充実 1億円（1億円）
- ・高等学校における教育の質確保・多様性への対応に関する調査研究 1.4億円の内数（0.8億円の内数）
- ・各学校・課程・学科の垣根を超える高等学校改革推進事業 1億円の内数（1億円の内数）
- ・不登校対策等の効果的な活用への促進に向けた調査研究 0.3億円【R6補正：1億円】
- ・経済的に困窮した家庭の不登校児童生徒に対する経済的支援と学びの充実に関する実証研究 0.1億円（0.1億円）
- ・幼保小接続による不登校・いじめ対策等に関する調査研究事業【新規】 0.4億円



心の小さなSOSを見逃さず、
「チーム学校」で支援します。

「チーム学校」による早期支援を推進

- ・SC・SSWの課題に応じた配置の拡充 95億円（86億円）
- ・心理・福祉に関する教職員向けの研修プログラムの普及促進に関する調査研究 0.1億円（0.1億円）

一人で悩みを抱え込まないよう保護者を支援

- ・不登校児童生徒の保護者等への相談支援体制強化 2億円【R6補正：1.5億円】
- ・SC・SSWの配置（再掲）



学校の風土の「見える化」を通
して、学校を「みんなが安心して学
べる」場所にします。

学校で過ごす時間の中で最も長い「授業」を改善（子供たちの特性に合った柔軟な学びを実現）

- ・校内教育支援センター支援員の配置（再掲）

快適で温かみのある学校としての環境整備

- ・公立学校施設整備（再掲）



（担当：初等中等教育局児童生徒課）